

清流ニュース

発行所
〒192-0904
八王子市子安町 1-22-25
清流寺
清流ニュース編集室
電話 (042) 646-0287 (代)
FAX (042) 644-1164
http://seiryuji.jp.org/

令和6年度総祈願

本年度教化誓願達成・学徒・教務員増加
日序上人御廿七回忌・日序上人五ヶ年報恩ご奉公
寺内・境内整備ご有志奉納推進 工事無事着工
甲乙御講席主・願主増加・共連れ参詣促進ご奉公体制再構築
お助行御法門聴聞励行・教養会内容充実・役中後継者養成

七月の御総講日

- 一日 十時 御修行日
- 七日 十時 ハースデー総講
- 十三日 十時 高祖御命日
- 廿五日 九時半 門祖御命日
- 於 清流寺
- 十二日 十時 高祖御逮夜
- 廿四日 九時半 門祖御逮夜
- 三十日 十時 歡尊御命日
- 晨尊御逮夜
- 於 羽村別院

特別行事

- 廿八日 午前十時三十分
佛立開導日扇聖人御正当会
奉修導師
- 東京中央布教区長
久遠寺御高職
加藤日感導師

晴天祈願 (夏期参詣に併修)

- 夏期参詣 十四日〜廿七日
- 第一座 六時〜八時
- 第二座 九時半〜十時半
- 廿一日第二座終了後大掃除
- 廿七日第二座終了後前日ご奉公

会議

- 一日 御総講後 役中会議
- 十四日 午後一時 参事会
- 廿五日 御総講後 ブロック長 教区長会議

7月28日
10時30分

佛立開導日扇聖人御正当会

併修

当山初代住職 権大僧正 日序上人御廿七回忌 奉修導師東京中央布教区長 久遠寺御高職 加藤日感導師

来る廿八日午前十時三十分より、佛立開導日扇聖人御正当会式(開導会)が、奉修されます。

この度は、奉修御導師に、東京中央布教区長・蒲田、久遠寺御高職加藤日感導師をお迎えさせていただきます。

加藤御住職は、平成元年に大阪・清風寺に於て、佛立第十八世講有日地上人を師僧として得度され、僧名を「淳感」と賜り、本宗中興開基と崇められた、第七世、第十世講有日淳上人のご門下となられました。

京都の佛立教育専門学校ご卒業後、ご自坊である久遠寺さんに帰山され、ご尊父である久遠寺第二世日遠上人のご指導の下、ご奉公され、数年前に久遠寺第三世としてご住職に就任され、温厚篤実な人柄から、東京中央布教区の布教区長に選出され、現在は二期目のご奉公で、中央布教区管内十一ヶ寺の先頭となつてご奉公、ご指導下さっている

御導師です。

佛立開導日扇聖人の御事
さて、佛立開導日扇聖人は開導聖人、大尊師、日扇聖人と、尊称申し上げます。

開導聖人は、幕末の宗教改革者として、当時墮落しきつた仏教界に一石を投じ、在家

仏教の礎を築かれ、殊に久遠本佛のお悟りの全体である、法華経本門八品所願上行所伝のお題目を、蓮隆両祖のみ教えにもとづき、正しく継承され、ご艱難、ご苦勞遊ばされ、最高最尊の教えを私共にお伝え下さったのであります。

夏のお会式である御正当会(開導会)は、この開導聖人への大恩報謝の誠を捧げる大法要であります。

久しぶりの他寺院参詣者をお迎えしての開導会ですので、すべてのご奉公に真心をもつて奉修させていただきます。

晴天祈願は、夏期参詣と併行して、七月十四日(日)より廿七日(土)まで行われます。

すから、一日でも多くお参詣にお気張り下さい。

- 第一座 六時〜八時
- 第二座 九時半〜十時半

七月朝参詣強調週間

七月二日〜六日

第四、第五、第六ブロック担当

- 七月の朝参詣強調週間は、第四(立川、国立)第五(京王)第六(武蔵野)の各教区が担当です。

七月二日(火) 立川教区

※三日(水) 祈願口唱会

四日(木) 国立教区

五日(金) 京王教区

六日(土) 武蔵野教区

右の日程で、各教区の教化誓願を言上させていただきますので、一人でも多く参詣させていただきます。

日序上人ご弘通の足跡②



子安仮本堂でお開山会式、中央日晨上人その右当山御住職



御住職上座に昇進(中央日晨上人、その右御住職) - 子安の旧清流寺本堂前で

昭和廿六年、弘通部長を拝命し、全国の各弘通区へ「ご弘通教室」を開催

昭和四十年、宗務本庁教務局長に就任、教務員指導の先頭に立ち、「錬成道場」を実施

昭和四十四年七月十九日〜廿六日 乗泉寺巡教で日晨上人の随伴として、北海道六ヶ寺(小樽・信受寺、札幌・信廣寺、夕張・本照寺、旭川・旭川寺、帯廣・帯廣寺、釧路・尚信寺)の六ヶ寺を四十三名の団参者を引率して参詣

昭和四十五年度は他寺院参詣として年間十ヶ寺をも奉修導師をお勤めになられました。

昭和四十六年、四十七年度、清流寺としては「智目行足口唱行」運動、「積功累徳不軽行」運動と銘うって、年間百万遍の口唱行を提唱され、教講一同は、口唱一筋のご奉公に邁進いたしました。

昭和四十八年には、現在の専門学校の前身の「教育院長」に就任され、教務教育に尽力されました。

昭和五十年、七諱総本部長にご就任、高祖大士七百回御遠諱の報恩ご奉公として、宗門

は「きりかえ運動」に着手し、その旗頭として、日序上人は「七諱総本部長」を拝命されました。

昭和五十二年七月
ハワイ別院担当を拝受され、日序上人は、就任期間中、三十回を超える渡米のご苦勞をされました。

昭和五十四年十一月一日〜七日九州、博多、熊本、鹿児島三ヶ寺の合同開筵式に、第十五世日晨上人、第十六世日幹上人の随伴として、当山より八十名の団参でした。

昭和五十七年十月には、宗務本庁・副総長を拝命し、宗務総長の補佐役のご奉公を全うされました。

昭和六十年十月に宗務総長にご就任され、本宗最高顧問にもご就任されました。

昭和六十一年、法臘五十年をお迎えになり、寺内教講一同は盛大な祝賀会を開催して日序上人ご夫妻をお祝いさせていただきました。

昭和六十二年五月四日、佛立第十八世講有日地上人ご遷化により、日序上人は、その翌日の六十二年五月五日に、「本門佛立宗講有代務者」にご就任され講有上人のご名代としてのご奉公では、時あたかも「開導百遠諱別修法要」の最中であり遠くブラジルまで、講有代務者としてご奉公されました。

又、翌六十二年には、日序上人の古稀寿の祝いも開催されました。

又、宗門最高顧問と同時に本宗参議にもご就任されました。